



あいさつする大田本部長

二次試験合格者 記念講演会に100人

日本技術士会中国本部が開催

(公社)日本技術士会中国本部(大田一夫本部長)は16日、広島市中区の広島市文化交流会館で平成27年度技術士第二次試験合格者記念講演会・祝賀会を開いた。26人の第二次試験合格者を含めて約100人が参加した。

熊本地震の被災者に対して黙祷を捧げたあと、大田本部長が開会挨拶。狭き門となる技術士の合格率や日本技術士会の活動内容などを紹介しながら、「技術士会では、技術士の活用や技術士業務の開拓に向けて、官公庁に対して陳情したり、産官学連携のもとで社会貢献活動などを実施している。その中でも最も力を入れているのが、CPD登録をはじめとした会員に対する資質向上だ。これら様々な活動を通じ、技術士の存在意義を社会に示すことが、技術士の地位向上につながることを考えている。本日を契機として、技術士会に入会してもらい、これらの活動を一緒に参加してもらえればと思っ「などと呼びかけた。

記念講演では、マツダ広報本部長の工藤秀俊本部長が「マツダのクルマ造りの考え方」をテーマに話した。工藤本部長は、コーポレートビジョンに基づいた戦略などを説明し、今後もカーライフを通じて「人生の輝き」を提供していくことを約束するとともに、対価以上の価値をあげられるよう努めていくと述べた。また、熊本地震への災害対応によって急きよ欠席となった中国地方整備局の吉田敏晴企画部長に代わり、復建調査設計の吉岡晴彦氏による講演も行われた。

講演後は、技術士会中国本部における各委員会・部会・研究会の活動報告や、先輩技術士と意見交換するための立食パーティーも催された。